

# 「廃材」イワシ 群れ泳ぐ



廃材で作られたイワシの大群と作者の加治聖哉さん＝29日、長岡市西中野俣の杜々の森名水公園

## アート水族館公開

長岡栃尾  
あすから

不用になった木材や金属片などで海の生き物を再現したアート作品を常設展示する「廃材水族館」が5月1日から、長岡市栃尾地域の杜々の森名水公園「アトレとど」で一般公開される。29日のプレオープンでは、イワシの大群が回遊するように演出された空間を、訪れた人が歩き回って楽しんでいく。

天井から、色とりどりの糸でつるされたイワシは約千匹。地元の織物工場で使われていた糸巻きや、飲食店などで集めたワインのコルク、割り箸などで作られた木片と金属片を組み合わせたカシキマグロは

高さ約3・5メートル。今にも飛び跳ねそうだ。

作者は栃尾を拠点に活動するアーティスト加治聖哉さん(25)。「廃材は誰かにとっては何れも自分には宝。イワシ1匹ずつに個性を出した。思い思いに楽しんでほしい」と話す。市内のパート女性(68)は「細かいところまできれいに作ってあって、廃材とは思えない」と驚いていた。

午前9時～午後5時。1

日のみ午前10時から。先着50人に記念品をプレゼントする。今後は公開制作も予定している。問い合わせは名水公園、0258(58)3050。